

## 毎年恒例の夏イベント



街の電光温度計の気温が 40 度を超えるようになってきました。  
太陽の当たる場所にいると、肌がじりじりと焼けて、外にいたくない位です。そんな夏真っ盛りの 11 月下旬～12 月には毎年恒例の外でのイベントがあります。

まず、私たちのプロジェクトに大きく関わるイベントが、ウニダス農協が主催で農業関連の会社が集まる EXPO です。私たちプロジェクトの長期隊員たちは、5 年前からプロジェクトの広報も兼ねて、必ずブースをだしてきました。  
今年が最後の出店で、プロジェクトの概要説明等を行いました。今回は、他県で活動する野菜栽培という職種の隊員を呼び、子供たちに野菜に関するクイズを出してもらったりなど、一緒にブースを盛り上げてもらいました。

(実際の活動の様子は、本ページ下部に記載した、FOPROLEI の Facebook よりご確認ください！)

この EXPO は、朝から夜まで 4 日間開催されていますが、夜でもこんなに人が集まっています。



夜は、牛のせりや音楽イベントが開催されるなど、農業関係者だけでなく、一般の方にも楽しめる内容になっているため、たくさんの方が集まるのかなと思います。

次に、エンカルナシオン在住者なら一度は出てほしいイベントがあります。  
それは、夜にエンカルナシオンのコスタネラ沿いを走るマラソン大会です。



写真は、5km コースのスタート地点の様子。

日中は暑いため、マラソンは夜に行われますが、日が沈むまでは暑さが残っているため、走る前から体力が奪われそうになります。

コースは5km から 21km まであり、毎年 1000 名以上のランナーがパラグアイ国内から集まります。

私は、走るのは特に好きではありませんが、去年も今年も 5km で参加しました。

参加する理由は、健康のためもありますが、T シャツなど参加者限定グッズをもらえる（参加費も払う）だけでなく、走った後には、ウニダス農協の乳製品や食べ物などが配布されるなど、おまけが多い“おいしい”マラソン大会だからです。

ランナーの中には、ゴールした後の景品をたくさん持って帰るため、袋を持参する強者もいました。

一つ一つ毎年恒例のイベントを終える度に、現地での残りの生活のカウントダウンも始まっている気がします。

が、寂しさよりも充実感のある日々を過ごせるように、最後の数か月を過ごしていきたいと思います！

